

『西国街道を歩こう』

ーコバノミツバツツジを求めてー

担当 4 班

「西国街道」とは、江戸時代における街道の一つであり、京都から高槻等淀川右岸を通り、大阪を経ないで西国（下関・大宰府）へ至る江戸時代の重要な幹線道路のことである。

今回は商売繁盛の神を祀る十日戎で有名な「西宮神社」に参拝後、国道 43 号線と並行に歩いた後北へ進みコバノミツバツツジが満開の「廣田神社」を經由し、厄除け開運・厄払いで有名な「門戸厄神 東光寺」を参拝後阪急門戸厄神駅への行程です。 歩行距離約 10 km

1. 開催日：令和 7 年 4 月 4 日（金）
2. 集合：10 時 阪神電車 西宮駅 えびす口改札を出た駅前広場
4 班の担当者が改札口で広場までの道順を案内します。
3. 行程：西宮駅 10 時→西宮神社 10 時 20 分→廣田神社 12 時（昼食・班長会議）（コバノミツバツツジ）→門戸厄神 14 時 40 分→阪急門戸厄神駅 15 時 30 分（解散）
4. 持ち物：昼食、飲み物、雨具、履きなれた靴等
5. 参加費：拝観料等なし
6. 実施可否：前日の予報で降水確率 50 % 以上は中止。全体メールでお知らせします。

【西宮神社】商売繁盛の神様として信仰されているえびす様を祀る。全国に約 3500 社あるえびす神社の総本社である。地元では「西宮のえべつさん」と呼ばれる。1 月 10 日の午前 4 時から十日えびす大祭が執り行われ、午前 6 時終わると同時に表大門が開かれ、参拝者が本殿までの 230 m を「走り参り」する。先着の 3 人が福男として認定される。

【廣田神社】日本最古の国史書「日本書紀」にその名を記される「廣田神社」。建国初の海外遠征に勝利をもたらした天照大御神の荒魂（あらみたま）を、凱旋帰国した神功皇后が武庫の地・廣田の国に祀ったのが始まりといわれている。阪神タイガースの全選手・監督・コーチがキャンプイン前に優勝を祈願する行事は球団創立時からの伝統。

【門戸厄神東光寺】あらゆる災厄を打ち払うという厄神明王「門戸厄神」が有名で、厄年にあたる年齢の人が厄払いをするほか、数えて 13 歳の子供が厄除けと学業成就を願って虚空蔵菩薩（こくぞうぼさつ）に詣でる十三詣（じゅうそうまいり）も行われている。



西宮神社



廣田神社



コバノミツバツツジ



門戸厄神